

電線新聞

発行所 日本電線工業会
 東京都中央区日本橋
 1-3-3 日本橋本町6丁目6番地
 電話 03(3664)5371
 FAX 03(3667)5371
 【大阪支社】〒530-0047 大阪
 北区西天満6-9-16(プロシード)
 大阪梅田ポーション502)
 電話 06(6316)0047
 FAX 06(6316)0048
 © 電線新聞2025

難燃用水酸化
 マグネシウム
 マグシーズ
 N-6
 神島化学工業株式会社
 URL: http://www.konoshima.co.jp
 本社 〒550-0011 大阪市西区阿波野1-3-15 (旧西本町ビル6階)
 TEL: 06(6110)1132 FAX: 06(6110)1219
 東京営業所 〒101-0041 東京都千代田区神田須田町2-5-2
 TEL: 03(5296)3792 FAX: 03(5296)3796

新年第一特集

長方形の四隅を対角線で結び、上から時計回りに黄・青・赤・黒の4色に染めた「Z旗」は、マストに掲げて船同士が意思疎通するための国際信号旗だ。万国共通のデザインで「タグボート(曳船)がほしい」というサインになる▼日露戦争時の1905(明治38)年5月27日午後1時55分、バルチック艦隊を日本海で待ち受ける連合艦隊司令官の東郷平八郎が乗船する旗艦「三笠」に、この

「Z旗」が翻った。Zはアルファベット最後の文字で後がない。「皇国ノ興廢、此ノ一戦ニアリ。各員一層奮勵努力セヨ」という趣旨であった▼午後2時5分、日本連合艦隊は突然、ロシア艦隊の前方で左に大きく舵を切った。敵前大回頭である。左にターンしている間は敵の砲撃にさらされるが、横向きになった時点で右舷側の小砲と前方後方搭載の主砲から砲撃ができる。結果は日本の大勝利。以来、「Z旗」は日本でスポーツや受験・選挙など「緊急事に総力を挙げて臨む」という意味でも使われるようになった▼一方、現代のロシアでは太字で描かれた白い「Z」がウクライナ侵攻支持や愛国心のシンボルになってきているように、ロシアの戦車や親ロシア派テロ隊の看板やTシャツに、Zという文字が踊っている。2月でウクライナ侵攻は3年目に入る。中東情勢もきな臭さを増すばかりだ。インフラを破壊し、罪のない多くの民間人が犠牲になる、無益な戦争に今年こそ終止符を打ってほしい。(微風)

2025年の針路 ①



復による需要の高まりが感じられ、民間企業の設備投資も回復し、プラスの見通しだ。

輸出は、中東向けの電力ケーブルなどの大型案件があり、前年度比でプラスとなるだろう。

電線・ケーブル不足 市場動向を注視



日本電線工業会 森平英也 会長

「特に、通信ケーブルや電力ケーブルの大きな需要が見込まれ、電線業界にとっては事業拡大の機会になる。通信トラフィックが世界的に増加していることから、情報通信網の拡大・安定・発展

24年度の電線出荷については？

「部門別にみると、通信は上期は旺盛だったが、夏頃から年末にかけて落ち込み、年間では前年度と同程度となる見通しだ。

電力は施工人員不足の懸念はあるが、設備更新や再生可能エネルギー関連の需要があり、前年度比でプラス。

電気機械は、マイナスが続いているが、家電などの分野では回復が見られ、自動車関連不正問題の影響でまだ低調だ。

自動車は、自動車認証不正問題の影響でまだ低調だ。

自動車は、自動車認証不正問題の影響でまだ低調だ。

「商慣習の改善」浸透進む

日本電線工業会の森平英也会長(古河電工代表取締役社長)が本紙の新年インタビューに応じた。協会の重要活動テーマである「商慣習の改善」については、「新品備重問題や件名先物契約問題が改善し、業界全体で浸透している」と語った。25年度の電線需要では自動車に期待を寄せ、「生産台数が回復すれば、過去最高値を更新する可能性がある」とし、「車載WHはアルミ化が進む」と中期的な見通しにも触れた。課題である人材不足については、「業界が一丸となって取り組んで気運を醸成する」とし、電線業界ならではの働きがいや若い世代に発信する。

「16年2月に自主ガイドライン『電線業界の取引適正化のために』を策定し、電線流通業者にも働きかけている。昨年で10回目となるフォローアップアンケートでは、新品備重問題や件名先物契約問題の改善が進んでいることが分かった。全日本電線販売業者連合会からも「商慣習の改善」は線需要にもつながるだろう。

「通信と電力は前年度並み、電気機械は、自動車生産台数の回復に伴い、電装品の需要が回復するだろう。自動車は生産台数が回復すれば、過去最高値を更新する可能性がある」と語った。25年度の電線需要では自動車に期待を寄せ、「生産台数が回復すれば、過去最高値を更新する可能性がある」とし、「車載WHはアルミ化が進む」と中期的な見通しにも触れた。課題である人材不足については、「業界が一丸となって取り組んで気運を醸成する」とし、電線業界ならではの働きがいや若い世代に発信する。

「中期的な電線需要と社会的な背景は？」

「28年度までの中期電線出荷は、年平均でプラス0.6%で微増の見通しだ。背景にあるのは、人口減少や住宅着工数の減少により、銅電線出荷の約半数を占める建設・電販の伸びが鈍化する」とある。

電力では、再エネ導入の促進のための送電線、地域間送電線や広域連系線といった、電力網整備に伴って需要が高まると

CO₂排出量37%削減を前倒しで達成 アルミ電線 19年度比で6割増

年度比で37%削減するという30年度の目標を、23年度に前倒しで達成した。新たに50年に向けた行動計画の策定を進めている。

「再エネ関連の課題は？」

「広域連系線や地域間連系線による電力網の整備を推進し、電力のレジ

「Z旗」が翻った。Zはアルファベット最後の文字で後がない。「皇国ノ興廢、此ノ一戦ニアリ。各員一層奮勵努力セヨ」という趣旨であった▼午後2時5分、日本連合艦隊は突然、ロシア艦隊の前方で左に大きく舵を切った。敵前大回頭である。左にターンしている間は敵の砲撃にさらされるが、横向きになった時点で右舷側の小砲と前方後方搭載の主砲から砲撃ができる。結果は日本の大勝利。以来、「Z旗」は日本でスポーツや受験・選挙など「緊急事に総力を挙げて臨む」という意味でも使われるようになった▼一方、現代のロシアでは太字で描かれた白い「Z」がウクライナ侵攻支持や愛国心のシンボルになってきているように、ロシアの戦車や親ロシア派テロ隊の看板やTシャツに、Zという文字が踊っている。2月でウクライナ侵攻は3年目に入る。中東情勢もきな臭さを増すばかりだ。インフラを破壊し、罪のない多くの民間人が犠牲になる、無益な戦争に今年こそ終止符を打ってほしい。(微風)

SDGsの目標達成に向けた活動は、個々の社員が取り組むことがベイスになっている。当会では、電線アンバサダーの石山蓮華さんが出演されたムービー『石山蓮華の電線探訪』などを通じて、各社の取り組みを紹介している。

2024年問題への対策は？

「23年6月に政府が策定した『物流の適正化・生産性向上に向けた荷主事業者・物流事業者の取組に関するガイドライン』に基づいて、当会も『電線業界における物流の自主行動計画』を策定し、23年12月に経済産業省へ提出した。

物流費の高騰について、値上げ分をどの程度価格転嫁できるかが大きな課題だ。会員社による、原材料費分の価格転嫁はほぼ完了しているが、燃料費・物流費の価格転嫁は進行中だという。

また、建設業界では人材不足が深刻化し、働き方改革の影響で労働時間が制約され、工事が遅れ

「人材不足への対策 電線業界全体で解決」

「電線業界の人材不足への対応は？」

「当会の人材育成専門委員会が、会員社を対象に21年10月12月に実施した『人材関連課題アンケート』によると、人材不足は事業規模を問わず、管理・製造・営業などの部署でも課題意識を抱えているという結果だった。人材不足が電線業界全体の課題であることが明らかとなった。

解決方法のひとつとして、21年からは有識者講演会やパネルディスカッションを開催している。人的課題など会員社の共通課題について、電線業界が一丸となって取り組むことで気運を醸成し、会員社の経営課題解決の一助となることを目的としている。24年は「組織成長への取り組み」をテーマに、昭和製線と明興双葉からパネリストを迎え、約80人が参加した。また、電線の日(11月18日)の他に、さまざま協力して発信したい」